



～地域とともにある学校をめざして～

鯨コミ

R6年度 CS通信No.14 R7.3.6



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

第3回学校運営協議会の様子(2/25)



学校運営協議会には、校長が作成する学校運営の基本方針を承認したり、意見を述べたりする役割があります。

この度、第3回学校運営協議会が開催され、3校の校長先生方が令和7年度学校運営方針について説明し、審議しました。

西海小学校 川浪校長先生は、

- 1 基礎的基本的な知識及び技能の確実な定着
 - 2 「勇気(挑戦)、努力(粘り強く)」をキーワードに「夢」を「目標」へ
 - 3 ふるさと学習を通してふるさとの歴史と文化の伝承、自然遺産の役割と恵みを学び、ふるさとの未来を考える
 - 4 自己有用感を高め、自己肯定感を育てる
- という新しい方針案とそれぞれの目標値を掲げました。



舞戸小学校 千葉校長先生は、魅力ある学校づくりとして、「いじめを絶対に許さない学級」「子供の主体性を伸ばす授業」「子供の良さを最大限

に引き出せる教師」「風通しの良い職場」「ICT 機器の効果的な活用」を新しく加えて説明しました。



鯨ヶ沢中学校 岩井校長先生は、先生方、保護者、生徒が分かりやすく、覚えやすい新しい教育目標と努力目標(めざす生徒像)を示しました。

教育目標は、「和心共進」で、

努力目標は、鯨ヶ沢の未来を拓く“ふるさとリーダー”「挑戦力」「判断力」「共生力」です。

3校の学校運営方針は、学校運営協議会で審議した結果、満場一致で承認されました。

令和7年度の教育活動に向けて、各校ともに、その準備が進んでいて、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」がさらに進みそうです。

今年度の活動を振り返って(委員の皆さんより)

- ・授業参観で、子ども達が生き生きとしている姿を見て、先生たちが細かく指導していると感じた。
- ・CS 通信や学校だよりがよく配付されており、活動内容がよくわかって良かった。
- ・学校訪問で、先生方が自慢や悩みを言ってくれたので、生徒はもちろん、先生方にも目を向けることが大事だと思った。
- ・学校支援ボランティアの皆さんは、忙しい日々を送っている中でも、子ども達のためと協力してくださっている。チーム力も素晴らしいので、大祭も盛り上げていけるよう、協力をお願いしたい。
- ・タウンミーティングに参加してみて、委員になったことで、町に参加していると感じた。白八幡宮大祭に参加することは可能なので、力になればと思っている。